

市民と一緒に住みよい東久留米市をつくるための アンケートご協力をお願い

日頃より、東久留米市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

市では、市民憲章の「知恵をだしあい、進んでまちづくりに参加し、住みよい東久留米をつくり
ます」を目指し、令和6年度に第4次改定となる「東久留米市地域福祉計画」を策定いたします。
このアンケートは、皆様のご意見や日頃感じている地域課題などをお聞きし、計画策定に役立て
ることを目的に実施いたします。

アンケートの対象者として、住民基本台帳から市内にお住まいの18歳以上の市民2,000人を無作
為で選ばせていただきました。お忙しいところ、まことに恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解
いただき、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、アンケートへのご回答は統計的に処理いたしますので、ご協力くださいました個人が特定
されることはございません。ご自身のお気持ち・ご意見に最も適した回答をご記入ください。

令和5年11月 東久留米市長 富田竜馬

[ご本人が回答することが難しい場合]

ご本人が回答することが難しい場合は、ご家族や代理の人がご本人の意見を聞いて記入してい
ただいても差し支えありません。

また、周囲にご家族や代理の人がいない場合は、下記問い合わせ先までご相談ください。

■アンケート、地域福祉計画に関するお問い合わせ・返信先

東久留米市 福祉保健部 福祉総務課 福祉政策係

〒203-8555 東京都東久留米市本町3-3-1

電話：042-470-7749（直通） ファクス：042-470-7808


電子メール：fukushisomu@city.higashikurume.lg.jp



湧水の妖精
るるめちゃん

東久留米市地域資源 PR キャラクター

～記入についてのお願い～

<p>【回答方法】 インターネット または 調査票の郵送 <u>※どちらかの方法でご回答ください</u></p> <p>【回答時間】 30分程度（目安）</p>	<p>ご回答・ご投函は <u>12月4日（月）</u> までお願いいたします。</p>
<p>インターネットによる回答方法</p>	<p>調査票の郵送による回答方法</p>
<p>①URLもしくは二次元コードから専用ウェブサイトにアクセスしてください。</p> <p>【URL】 https://questant.jp/q/higashikurume_chiiki_shimin</p> <p>【二次元コード】</p>  <p>②調査票と同じ質問が画面に表示されます。</p> <p>③途中保存はできませんので、目安の時間が取れそうな時にご回答をお願いいたします。</p>	<p>①封筒の宛名のご本人がお答えください。 ご本人が回答することが難しい場合は、ご本人の意見を聞いて、ご家族や代理の人が記入しても差し支えありません。</p> <p>②回答はあてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、（ ）に具体的な内容を記入してください。</p> <p>③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。</p> <p>④回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封かんし、回答期限までにポストに投函してください（切手は不要です）。</p>

1 あなた（ご本人）のことについて

問1 あなたの性別、年齢をお答えください。（それぞれ○は1つ）

①性別

※性別を選択することに違和感や抵抗感がある場合は回答を控えていただいても結構です。

1 男性	2 女性	3 その他（ ）
------	------	----------

②年齢【令和5年11月1日現在】

1 18～19歳	5 35～39歳	9 55～59歳	13 75～79歳
2 20～24歳	6 40～44歳	10 60～64歳	14 80～84歳
3 25～29歳	7 45～49歳	11 65～69歳	15 85歳以上
4 30～34歳	8 50～54歳	12 70～74歳	

問2 現在、あなたの世帯の構成は、次のどれにあたりますか。(1つに○)

※「夫婦」には婚姻届を提出していない場合や同性パートナーを含めます。

1 ひとり暮らし	5 ひとり親と子ども(一番下の子どもが18歳以上)
2 夫婦のみ	6 ひとり親と子ども(一番下の子どもが18歳未満)
3 夫婦と親(二世帯同居)	7 三世帯同居(親と子と孫)
4 夫婦と子ども(二世帯同居)	8 上記以外

問3 同居している世帯の状況について、あなたご自身を含めてお答えください。(○はいくつでも)

1 未就学児がいる	4 病気で寝たきりの人がいる
2 介護が必要な人がいる	5 生きづらさを感じている人がいる(※)
3 障害者手帳を所持している人がいる	6 1～5のいずれもない

(※) ひきこもり、ヤングケアラー、LGBTQ、貧困、8050問題等に起因する1～4に当てはまらない悩みや困り事により、生きづらさを感じている場合は「5」に○を付けてください。

また、この後の設問で、これらについて回答したくとも選択肢が無い場合は、その他にご記入いただき、必要に応じて問35(自由記述)で補足記入をお願いします。

問4 あなたのお住まいの住居形態は、次のどれにあたりますか。(1つに○)

1 持ち家(一戸建て)	5 都営住宅
2 持ち家(マンションなどの共同住宅)	6 社宅・社員寮
3 民間賃貸(一戸建て)	7 上記以外
4 民間賃貸(マンションなどの共同住宅)	

問5 あなたの市内の居住年数(市内での転居を含めた通算)をお答えください。(1つに○)

1 5年未満	4 15～20年未満	7 30年以上
2 5～10年未満	5 20～25年未満	
3 10～15年未満	6 25～30年未満	

問6 現在のお住まいの地域は、次のどちらですか。

ブロック (↓1～8から○は1つ)	含まれる町
1 第1ブロック	上の原、神宝町、金山町、氷川台
2 第2ブロック	大門町、新川町2丁目、浅間町
3 第3ブロック	東本町、新川町1丁目、本町
4 第4ブロック	小山、幸町、下里1・7丁目、野火止、八幡町1丁目
5 第5ブロック	中央町、前沢1・2丁目、八幡町2・3丁目
6 第6ブロック	学園町、ひばりが丘団地、南沢、南町
7 第7ブロック	前沢3～5丁目、滝山、弥生
8 第8ブロック	下里2～6丁目、柳窪

問7 あなたは、お住まいの地域に愛着を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|----------|-------------|
| 1 とても感じる | 3 あまり感じない |
| 2 少し感じる | 4 まったく感じない |
| | 5 どちらともいえない |

(回答の理由があれば、問35(自由記述)で補足記入をお願いします)

問8 あなたは、お住まいの地域で今後も生活していきたいと思えますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 可能な限り、生活したい | 3 市外に転居したい |
| 2 市内の他の地域に転居したい | 4 わからない |

(回答の理由があれば、問35(自由記述)で補足記入をお願いします)

2 近所付き合い、地域の暮らしについて

問9 ふだん、となり近所とは、どのようなお付き合いをされていますか。(主なもの1つに○)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1 お互いの家を行き来している | 3 あいさつ程度 |
| 2 いただき物や旅行のお土産をおすそ分けする | 4 <u>ほとんどない</u> |



付問 前問で「4 ほとんどない」と答えた方におたずねします。近所付き合いをしていない主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|---|
| 1 仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから | |
| 2 引っ越してきて間もないから | |
| 3 普段、付き合う機会がないから | |
| 4 となり近所と知り合うきっかけがないから | |
| 5 同世代の人が近くにいないから | |
| 6 気の合う人や話の合う人が近くにいないから | |
| 7 あまり関わりをもちたくないから | |
| 8 その他(具体的に |) |
| 9 特に理由はない | |

以降、【全員の方へ】

問10 (同居をしていない家族や友人のうち、一番親しい方を思い浮かべて回答してください)

あなたとの方とのコミュニケーションの頻度について、ア～ウごとにそれぞれお答えください。(それぞれ○は1つ)

	週4 ～ 5回以上	週2 ～ 3回程度	週1 回程度	2週間 に1回程度	月1 回程度	月1 回未満	全く ない
ア 直接会って話す	1	2	3	4	5	6	7
イ 電話(ビデオ通話含む)	1	2	3	4	5	6	7
ウ SNS(LINEなど)、 電子メール、ショートメール	1	2	3	4	5	6	7

問11 あなたは、日頃の生活の中で、孤独であると感じることがありますか。(1つに○)

1 決してない	4 時々ある(月2～3回程度)
2 ほとんどない(月1回未満)	5 しばしばある・常にある(週1回以上)
3 たまにある(月1回程度)	

問12 あなたのお住まいの地域では、お互いに助け合う「地域のつながり」を感じますか。

(1つに○)

1 とても感じる	3 あまり感じない
2 どちらかといえば感じる	4 まったく感じない
	5 どちらともいえない

問13 あなたは、現在の地域での暮らしに「地域のつながり」は必要だと思えますか。(1つに○)

1 とても必要である	3 あまり必要ない
2 どちらかといえば必要である	4 必要ない
	5 わからない

問14 あなたの地域で次のような世帯を見たり、聞いたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----|---|
| 1 | 大量のごみが自宅や敷地に放置されている世帯(ごみ屋敷) |
| 2 | 高齢者が同居の高齢者の世話(看病、介護、介助など)をしている世帯(老老介護) |
| 3 | 世帯全員が近隣や地域と関わりをもっていないと思われる世帯(孤立世帯) |
| 4 | 自宅にひきこもっている人がいると思われる世帯(ひきこもり) |
| 5 | 高齢の親が中高年の子どもの生活を支えている世帯(8050問題) |
| 6 | 親の世話(看病、介護、介助など)と自分の子育てを同時に抱えている世帯(ダブルケア) |
| 7 | 未成年の子どもが親や兄弟姉妹を介護し、自分の時間をもてない世帯(ヤングケアラー) |
| 8 | 家族の間で虐待が疑われる世帯(虐待) |
| 9 | となり近所で何かのトラブルが起きていると思われる世帯 |
| 10 | 上記以外で、課題を抱えていると思われる世帯
(具体的に) |
| 11 | 見たり、聞いたりしたことはない |

問15 あなたは、まわりの人(家族以外)に手助けできること(してもいいこと)はありますか。
(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------|----|--------------------|
| 1 | 安否確認の声かけ | 7 | 災害時避難の手助け |
| 2 | ちょっとした買い物やごみ出し | 8 | 具合がよくない時に病院などに連絡する |
| 3 | 食事や掃除・洗濯の手伝い | 9 | 専門の相談機関等に連絡する |
| 4 | 通院の送迎や外出の手助け | 10 | その他 |
| 5 | 子どもの預かり | | (具体的に) |
| 6 | 話し相手や相談相手 | 11 | 特にない |

3 地域の活動について

問16 あなたが地域に参加するとしたら、どういう活動に参加したい(しやすい)ですか。現在の活動の有無に関係なく、お答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 自治会、町内会、マンション管理組合、自主防災組織、消防団などが行う地域活動 |
| 2 | 保護者会、PTAなどが行う、学校などを拠点とする活動 |
| 3 | 社会福祉法人、福祉サービス事業者などが行うイベント・講習会・ボランティア |
| 4 | 趣味のグループ、自主サークルなどが行う地域活動(自分が関心のある分野) |
| 5 | 市、商店街、NPOなどが行うイベント・講習会・ボランティア |
| 6 | 自分たちが主体となって行う地域活動(交流づくり、居場所づくりなど) |
| 7 | その他(具体的に) |
| 8 | そうした活動に参加したくない・関心がない |

問17 あなたは、どのような環境があると地域活動に参加しやすいと思いますか。現在の活動の有無に関係なく、お答えください。（〇はいくつでも）

- | | |
|----|-----------------------|
| 1 | 自分の時間に余裕があること |
| 2 | 時間や期間にあまりしぼられないこと |
| 3 | 関心・興味のあるテーマの活動があること |
| 4 | 知り合いや気の合う仲間がいること |
| 5 | 身近な場所で活動できること |
| 6 | 家族の理解・協力が得られること |
| 7 | 子どもの世話や親の介護を代わってもらうこと |
| 8 | 自分の能力向上につながる |
| 9 | 参加に報酬があること |
| 10 | その他（具体的に |
| 11 | そうした活動に参加したくない・関心がない |

問18 あなたが身近な地域（自宅以外）で利用する場所がありますか。（〇はいくつでも）

- | | | | |
|---|----------------------|---|-----------------|
| 1 | 公園 | 6 | 図書館 |
| 2 | カフェ（喫茶店）、レストラン、飲食店 | 7 | 学校（教室、校庭、体育館など） |
| 3 | 商業施設（スーパーやコンビニなど） | 8 | その他 |
| 4 | 自治会、マンションなどの集会スペース | | （具体的に |
| 5 | 地域センター・地区センターなどの公共施設 | 9 | 利用することはほとんどない |

問19 下記の地域福祉に関する活動や組織について、聞いたことがあるものをお答えください。（〇はいくつでも）

1	地域福祉コーディネーター	制度の狭間にあるような困りごとを抱えている方への個別支援や居場所づくりなど、住民主体の活動の推進を行う役割を担う人。
2	民生委員・児童委員	住民の相談に応じ、行政などにつなげる役割を担う、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員であり、無報酬の市民ボランティア。
3	地域活動支援センター	障害のある方をサポートする相談窓口。
4	地域包括支援センター	高齢者をサポートする相談窓口。
5	自立相談支援機関	困窮者を支援するため、家計や仕事など生活に関する困り事に幅広く対応する相談窓口。
6	子ども家庭支援センター	子どもと家庭に関する相談窓口。
7	社会福祉協議会	地域福祉の推進を図ることを目的とする社会福祉法人。
8	1～7はいずれも聞いたことがない	

4 相談や情報について

問20 あなたやご家族が日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。

(○はいくつでも)

- 1 家族や親戚（同居、別居を問わない）
- 2 友人・知人
- 3 近所の人、自治会、町内会
- 4 民生委員・児童委員
- 5 かかりつけ医
- 6 ケアマネジャー（介護支援専門員）やヘルパー（介護員）
- 7 地域福祉コーディネーター
- 8 仕事・学校関係の人（職場の同僚、保育所・幼稚園・学校の先生やカウンセラー）
- 9 相談支援専門員（障害者）
- 10 地域包括支援センター
- 11 市役所の窓口
- 12 社会福祉協議会
- 13 その他（具体的に)
- 14 相談できる人や機関はない

問21 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。(1つに○)

1 ある

2 ない

付問 前問で「1 ある」と答えた方におたずねします。 お困りの内容は何ですか。

(○はいくつでも)

- 1 家族・親族間の人間関係（虐待、ひきこもりなどを含む）
- 2 子育て、看病、介護などの問題
- 3 依存症の問題（薬物、アルコール、タバコなどを含む）
- 4 収入、就労の問題
- 5 学校、勤務先での人間関係
- 6 事業や家業の経営上の問題
- 7 金銭トラブル
- 8 近隣、地域との関係
- 9 事故、事件などの被害
- 10 その他（具体的に)

※ひとりで不安やストレスを抱え込んでいる方、
悩んでいる方は、
市ホームページ「相談したいと思ったら」
にお気軽にご相談ください。

ご本人だけでなく、家族や友人の方からも相談できます。

<https://www.city.higashikurume.lg.jp/kurashi/kenko/kokoro/1015807/1015881.html>



以降、【全員の方へ】

問22 あなたにとって、市役所、社会福祉協議会がより相談しやすくなる方法は何ですか。

(○はいくつでも)

1 土日・祝日でも相談できる	5 1か所で相談できる
2 早朝や夜間でも相談できる	6 その他
3 チャット、LINEで相談できる	(具体的に)
4 相談員が親身になってくれる	7 現状のままでいい
	8 わからない・利用したことがない

問23 あなたは、市の福祉(サービス)に関する知識や情報をどこから得ていますか。

(○はいくつでも)

1 市や社会福祉協議会のホームページ	6 地域福祉コーディネーター
2 市広報「ひがしくるめ」やパンフレット	7 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など
3 市役所や社会福祉協議会の窓口	8 関係機関のホームページ
4 地域包括支援センターなどの市が設置している施設	9 家族・親戚、友人・知人
5 NPO・ボランティア等の民間団体	10 その他
	(具体的に)
	11 特にない・関心がない

問24 あなたは、スマートフォン、タブレット、パソコンのいずれかを使っていますか。最も使うものの頻度でお答えください。(1つに○)

1 日常的に使っている	3 持っているが、あまり使っていない
2 時々、使っている	4 持っていない

5 災害への備えについて

問25 あなたは、日頃から、災害発生時に備えていますか。(○はいくつでも)

1 防災訓練に参加している	5 3日以上以上の食料、水などを備えている
2 避難場所や避難経路を確認している	6 防災マップ、洪水ハザードマップを確認している
3 家具などの転倒防止を行っている	7 その他(具体的に)
4 避難行動要支援者名簿に登録している	8 特にしていない

問26 あなたは、災害発生時に地域の防災活動に協力できることはありますか。(○はいくつでも)

1 避難の声かけをする	4 (自身や家族の状況が許されれば)
2 高齢者などと一緒に避難する	災害ボランティア活動に参加する
3 避難所で人のお世話をする	5 その他(具体的に)
	6 特にない

問 27 あなたは以下の防災の取り組みや用語について知っていますか。(〇はいくつでも)

1 福祉避難所	4 在宅避難
2 仮設住宅	5 避難所運営マニュアル
3 災害ボランティアセンター	6 知っている取り組みや用語は一つもない

6 権利擁護支援について

問28 あなたは、権利擁護に関することについて知っていますか。(それぞれ〇は1つ)

	内容を 知っている	(聞いた ことはある 内容は 知らない)	知らない	説明
ア 成年後見制度	1	2	3	認知症、知的障害、精神障害などの精神上の障害により判断能力が不十分な場合に、成年後見人（弁護士、司法書士、社会福祉士など）が本人を法的に保護し、支える制度。
イ 任意後見制度	1	2	3	本人に判断能力があるうちに、将来、判断能力が不十分な状態になることに備え、公正証書を作成して任意後見契約を結び、任意後見人を選んでおく制度。
ウ 社会貢献型後見人 (市民後見人)	1	2	3	身寄りがない等、財産管理をする人がいなく施設に入所できない人などの権利をまもり、同じ市民の目線に立って支援をする人。

問29 あなたやご家族のどなたかが認知症などによって判断が十分にできなくなる場合に備えて、あるいは、できなくなった場合、上記（問28）ア～ウのうち、いずれかの制度を利用したいと思いませんか。(1つに〇)

1 既に利用している	2 利用を検討する	<u>3 利用しない</u>	4 わからない
------------	-----------	----------------	---------



付問 前問で「3 利用しない」と答えた方におたずねします。 制度を利用しない主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1 制度の内容や利用方法がわからない	
2 事務手続きが面倒	
3 後見人に財産管理や契約手続きを任せるのは不安	
4 申立てにかかる費用や後見人へ支払う報酬が負担	
5 家族などに支援してもらいたい	
6 その他（具体的に)

以降、【全員の方へ】

問30 あなたは、東久留米市社会福祉協議会で遺言相続・成年後見制度相談ができることを知っていますか。(1つに○)

1 既に利用したことがある	2 知っている(利用したことはない)	3 知らない
---------------	--------------------	--------

7 立ち直りを支援するまちづくり(再犯防止)について

様々な事情から犯罪や非行をした人たちが再び犯罪や非行をすることを防ぎ、立ち直ることを国及び地方公共団体が支援する「再犯の防止等の推進に関する法律」(再犯防止推進法)が平成28年に公布・施行されました。

問31 犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動である「社会を明るくする運動」や「再犯防止啓発月間」を知っていますか。(1つに○)

1 両方とも知っている	3 「再犯防止啓発月間」のみ知っている
2 「社会を明るくする運動」のみ知っている	4 両方とも知らない

問32 犯罪や非行の防止、犯罪や非行をした人たちの更生に協力する下記の民間協力者がいることを知っていますか。(○はいくつでも)

1 保護司	犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間ボランティア。保護観察対象者となった人へ保護観察を行う。法務省から委嘱。
2 更生保護女性会	犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行い、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行少年の改善更生に協力する女性ボランティア。
3 協力雇用主	犯罪をした人等の自立及び社会復帰に協力することを目的として、犯罪をした人等を雇用し、又は雇用しようとする民間の事業主。
4 BBS会	問題を抱える少年が自分自身で問題を解決したり、健全に成長していくことを支援し、犯罪や非行のない地域社会を目指す青年ボランティア団体。
5 更生保護施設	矯正施設から釈放された人や保護観察中の人で、身寄りがいないことなどの理由で、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設。
6 教誨師(きょうかいし)	受刑者や少年院在院者等の改善更生のため、宗教により教誨をする宗教家。
7 篤志面接委員	専門的な知識・経験を有し、法務省から委嘱を受けた人で、受刑者や少年院在院者等の改善更生のために奉仕活動をする人。
8 いずれも知らない	

問33 犯罪や非行の防止、犯罪や非行をした人たちの立ち直りを応援し、社会復帰を果たすために、市が行う支援として何が重要だと考えますか。(○はいくつでも)

1 就労支援	6 民間協力者の活動促進
2 住まいの確保支援	7 どのような支援が必要かわからない
3 経済的支援	8 特に必要な支援はない
4 地域住民の声かけ・関わり	9 その他
5 非行の防止・就学支援	(具体的に)

8 市の地域福祉について

問34 あなたご自身、お住まいの地域を暮らしやすくするためにしたいこと、できることがありましたら、ご自由にご記入ください。（自由記述）

問35 最後に、市の地域福祉を進める取組について、ご意見・ご提案がありましたら、ご自由にご記入ください。また、問33以前の回答の具体的な理由があればご記入ください。（自由記述）

アンケートは以上です。ご回答、ありがとうございました。